

第5回(仮称)三田西認定こども園運営方針等検討委員会（会議の概要）

会 議 の 名 称	第5回（仮称）三田西認定こども園運営方針等検討委員会
開 催 の 日 時	令和5年6月15日（木）19時00分～20時45分
開 催 の 場 所	藍市民センター 2階 多目的室
出席した委員の氏名	山田会長、日浦副会長、吉田委員、廣瀬委員、奥本委員、中村委員、関灘委員、森本委員、一委員、古林委員（藪内委員、下良委員は欠席）
出席した庶務職員の職及び氏名	西垣戸子ども・未来部長、横溝子育て応援室長、藤田幼児教育振興課長、久後幼児教育振興課参事、増田幼児教育振興課副課長、亀島幼児教育振興課副課長、川崎幼児教育振興課主任、坪倉幼児教育振興課職員、管幼児教育振興課職員
その他出席者	0人
傍聴人の人数	7人
議 題	1 協議・報告事項 (1) 認定こども園の名称について (2) （仮称）三田西認定こども園駐車場等について (3) 認定こども園1日の過ごし方（イメージ）について (4) 通園バス運行の考え方について (5) 検討委員会のスケジュール（予定）について (6) その他
会 議 の 概 要 （ 結 論 ）	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園の名称については、検討委員会として「みつば」、「さくら」、「なかよし」の3点を候補とした。 ・（仮称）三田西認定こども園の駐車場所については、事務局の提案どおりとし、園の行事等ときは小学校の職員駐車場の借用や、保護者や周辺住民に協力をお願いするなどの対応を検討する。 ・認定こども園の1日の過ごし方については、認定こども園となり、子どもが長時間園で過ごすことになることから、子どもが安心して過ごせるように今後も検討を進める。また、子育て支援などで未就園児や保護者が交流できる場を設定していくことを確認した。 ・通園バス運行の考え方では、広野幼稚園の路線バス利用者についても保護者の協力を得ながら、通園バスの対象とすることとした。また、園児募集前に園等を通じて、入園を考えている方に通園バス利用の意向を確認することとした。
公開・非公開の区分	公開
使用した資料	認定こども園の名称について、（仮称）三田西認定こども園の駐車場等について、認定こども園での子どもたちの1日の過ごし方（イメージ）、通園バス運行の考え方について、検討委員会のスケジュール（予定）について、就学前施設在籍状況
連 絡 先	子ども・未来部 子育て応援室 幼児教育振興課 電話 (079) 559 - 5232

1 開会

- ・西垣戸子ども・未来部長あいさつ

事務局

本日の委員会につきまして、藪内委員、下良委員の2名が所用のため欠席となっています。また、本日から広野幼稚園保護者代表として日浦委員が酒田委員に代わって委員にご就任いただいております。次に、本日の委員会につきましては、委員の皆様のご過半数以上ご出席いただいておりますので、会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。

また会議は公開となります。現時点での傍聴者は7名です。

なお、本日の予定としましては、1時間30分程度の会議時間を予定しております。委員の皆様には、円滑な議事進行にご協力をよろしくお願いいたします。

続きまして、次第の2点目、副会長の選任に移らせていただきます。先程ご紹介いたしましたとおり、副会長の酒田委員が日浦委員に交代されたことに伴い、副会長の選任が必要となりました。三田市立認定こども園運営方針等検討委員会設置要綱第8条に、「各委員会に会長1名及び副会長若干名を置き、委員の互選により定める」と規定しておりますが、その選任につきましていかがさせていただきますでしょうか。

もしご意見がなければ、事務局から提案をさせていただきますのでよろしいでしょうか。

〈一同、異議なし〉

それでは、副会長には広野幼稚園の保護者代表としまして、日浦委員を提案させていただきますたく存じます。

〈一同、拍手〉

ありがとうございます。賛成多数でございますので、日浦副会長よりよろしくお願いいたします。

副会長

こども園開園まで、後数か月となり、皆さんで意見を出し合って、より良い園にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございます。

続きまして、次第の3点目、議事に移らせていただきます。ここからの委員会の進行につきまして、山田会長にお願いいたします。

会長

皆さんお久しぶりです。引き続き、お付き合いしていただきたいと思います。去年同様に活発なご意見をいただければと期待しております。それでは、さっそく議事に入りたいと思います。

それでは、協議・報告事項の1点目、認定こども園の名称について事務局より説明をお願いします。

2 協議・報告事項

(1) 認定こども園の名称について

事務局より 3/11 ページにて説明

事務局 私どもが園児の皆さんに聞き取りした内容をご説明しました。詳しくは、当日幼稚園の教諭が進行して進めましたので、園の教諭から子どもたちの反応の様子について報告いただければと思います。

委員 3園の交流会の日に集まって、子どもたちに園名についての感想をいろいろ聞きました。言葉だけでは難しいのでイメージし易いように、写真やイラストを子どもたちに見せながら進めていきました。「あおい」、「さくらなみき」は、説明するのが難しいと思いました。そういう言葉よりも「なかよし」、「さくら」の方がイメージしやすかったようで、子どもたちは「なかよし」と「さくら」に反応を示していました。

委員 園名称候補を考えるにあたり、本庄・広野・藍の地域をめぐりました。「さくら」、「さくらなみき」、「あおい」が候補に選ばれた理由にあるように、田園風景が素敵で緑がいっぱいあって、3園が集まった時に本当に良い環境なんだと自分自身が感じました。その思いを持って、子どもたちに話しかけると、目がキラキラしていたのを覚えています。良い名前が決まればいいなと思っています。藍地域の方で「園名楽しみやなあ」「どこまで進んでいるの?」と言われる方もおられました。

会長 責任重大ですね。

委員 私からは保護者の方の様子をお話しします。降園時に保護者の方に「今日、子どもたちが集まって園名称の候補の話し合いをした」とお伝えしたら、保護者の方も興味が深まっていたようです。「新聞社も来られていた」ことを伝えると、「いつ新聞に載るのですか」と聞かれました。記事を掲示しますと、新聞記事の周りで、「さくら」、「なかよし」、「なぜ、あおいと言うの」などと話題になっていました。子どもたちも新しい幼稚園を楽しみにしているようで、「私これにする」などと言っていました。保護者の方々も期待や興味を持って新しい認定こども園になることを見守り、楽しみにしてくださっていると感じたので、うれしく思いました。

会長 ご意見ございましたらお願いします。

委員 名前を決める事は大事なことです。この話し合いの後、どういう流れで決まるのですか。

事務局 予定としましては、各委員会で出た意見を市長に報告しまして、1つの案に絞って、9月の議会に認定こども園条例を提案して名称を決定していくという流れです。

副会長 「さくら幼稚園」という名称ですが、素敵な名前だと思って応募した後に、同じような名前が市内で使われていないか調べてみたら、認可外で「さくら保育所」というのが東本庄にありました。市としては、似たような名前を使われるのはやめた方がいいとかはありますか。

事務局 おっしゃいますように名称が重なるようなことはありますが、間違いがおこらないように、例えば「三田市立認定こども園さくら幼稚園」という形で名称を決定していけば、問題ないかと思います。

委員 子どもたちの声で、「さくら」、「なかよし」が多いというのは、よく理解できるのですが、私たち地域の中で名前について、いろいろな意見が出ていて、一番多いのは「みつば」でした。理由を聞きますと、3つの地域が集まって、1つの形になっているのと、広野小学校のシンボルカラーは緑で、幼稚園のフィールドも緑です。そういうことから、緑が青々としてすくすく育って、3つの幼稚園が1つになって、「みつば」がいいよねと言う意見がかなり多いので、その辺も踏まえて、決めていただきたい。もちろん子どもの意見も大切ですが、大人が目線と子どもの目線とかなり違うと思います。それをどう考えていくかと言う点について、検討をよろしくお願いします。

会長 東の検討委員会では「よつば」という意見が多く、西が「みつば」で東が「よつば」となると混同しやすいかなという1つの問題点が挙がっているらしいです。私も個人的には「みつば」が好きです。その他にありますか。

委員 小学校の方でも話があったのですが、「みつば」、「さくら」、「なかよし」の中から選ばれるのが良いという感じでした。

委員 確か、藍小学校の校章も3つの地域が合併してできたという意味で出来ていると、先日家族が子どもに伝えていました。子どもの時はあまり意識しなくても、教えてもらった事を大人になってもずっと覚えているんだなと思いました。私は「みつば」がいいなと思います。
「さくら」や「あおい」は子どもの名前として付けられることが多いという印象で、いろんなどころに付いている名前だなと思います。

会長 皆様のご意見を伺って、「みつば」「さくら」「なかよし」3つ挙がっていますが、事務局、1つにしないといけませんか。

事務局 1つにしないといけないという訳ではありません。例えば、「みつば」、「さくら」、「なかよし」の中から選ぶという事を、検討委員会でまとめたという方法があります。

会長 決定するということではなくて、候補として絞り込めということですか。決めてくれと言ってくれた方が楽なように思いますが、それはできないのですか。

事務局 1つに絞るというのも、ひとつの方法です。

委員 絞り込んだら、最終的に誰が決めるのか。

事務局 最終的には、市長が決定します。

委員 今まで、広野・本庄・藍だったので、「三田西」が良いのではと思います。これは悪い名前ではないし、分かりやすいし、最初からこれで良いと思っていました。

委員 将来において、長いスパンで見たときに何故この名前がついたのか、理由付けがきちんとできるようにしないといけないと思います。3園が集まったの認定こども園、その象徴としてこの中ではどうなのかとなると「みつば」かなと。

必ずしも、それが良いとは言えませんが。

委員 3つの園が集まってということでしたら、「あおい」は、藍・本庄・広野の頭文字から名付けられて、素敵だと思いましたが、園児達の反応があまり良くないので、私は「みつば」が良いと思います。

委員 私は、ここには載っていませんが別の名前で応募しました。この名称の一覧表をもらった時に、「みつば」、「よつば」は、3園、4園が集まってということなので良いかなと思いますし、その他にも良い名前があるので、絶対にこれが良いという訳ではありません。

会長 それでは、意見も出尽くしたようですので、「さくら」、「なかよし」が幼稚園の子ども達の意見で、今の話を聞きますと、「みつば」も捨てがたいということで、「みつば」、「さくら」、「なかよし」の3点を、検討委員会として候補に挙げていきたいと思いますが、いかがですか。

〈一同賛成〉

会長 続きまして、協議・報告事項の2点目、「(仮称)三田西認定こども園駐車場等について」事務局より説明をお願いします。

(2) (仮称)三田西認定こども園駐車場等について
事務局より4、5/11ページにて説明

会長 ただいま説明のありました内容につきまして、各委員よりご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

委員 通園バスの駐車場はここでいいと思いますが、通園バスの種類はどういったものでしょうか。

事務局 大きさとしては、ハイエース、キャラバンといった小型のワンボックスタイプのものです。

委員 細い道を下から上がって来ると思いますが、サイズの的に大丈夫ですか。

事務局 予定しています小型のバスは、十分通れるような幅員が確保できていますので、対応できると思います。保護者の駐車場につきましては、小学校の駐車場に停めていただき、そこから引率という形でご協力をお願いしたいと考えています。

委員 ①の駐車場に消防団器具庫が新しくできていると思いますが、それを入れても37台ということですか。

事務局 現状で、37台のスペースを確保しています。

委員 車の出入りが激しく、道幅もギリギリで危ないと聞いたことがあります。安全にしていただければと思いますが、その辺の対応は考えられていますか。

事務局 具体的には、どういったところを示されているのでしょうか。

委員 出入口が狭いのは、今通われている保護者の方がご存じだと思います。

委員 確かに言われている出入口のところで車をかわすのは、厳しいかもしれません。

事務局 この図でいいますと、「①認定こども園保護者駐車場」の上の市道と、矢印のところが狭いという事でしょうか。

委員 道路から右に入る小道に出入口が新しくできましたが、そこが狭いので車をかわしづらいです。出入口をもう少し広げていただけたらと思います。

事務局 こちらの図でいいますと、上井沢と書いた上の駐車場の私道の所の出入口が若干広くならないかというご意見でしょうか。そのあたりは現状を確認する中で、検討してまいりたいと思います。

会長 そもそも、37台で足りませんか。

事務局 認定こども園に来られる園児さんの送迎のために、常時駐車されるということは想定しておりません。送迎時に駐車されるという想定で、同時に駐車されないと思いますので、37台で足りると考えています。

委員 現状は、今の幼稚園の保護者も①の駐車場に停めています。前は消防器具庫がなかったので、37台+15台位停めることができました。小学校と幼稚園の行事が重なると、満車で停められなかったことはありました。消防器具庫ができてからは、小学校の行事の時は、保護者の方に歩いて来ていただいています。どうしても場合は「①認定こども園保護者駐車場」の丸のところ、神姫バスのバス停の道を挟んで下の駐車場が小学校の職員駐車場になっていて、駐車スペースが不足するときは、職員の車をグランドに停めて、元の駐車場を空けて、保護者に停めていただくように工夫されています。認定こども園になるに当たっては、行事ができるだけ重ならないようにすることや、園職員が増えますので、小学校職員の駐車場に園職員の車も置くことになるかもしれません。現状は、小学校と連携して、今あるスペースでやっています。

出入口が狭いと言う話もありましたが、小学校の修学旅行のときは、大型バスもここを入っています。大きな車がすれ違うには難しいかもしれませんが、その時は譲り合っていただければと思います。

委員 今の状態で、ギリギリの駐車スペースを確保しているという事ですが、いろんなイベントをしたときも、皆さん協力的ですし、地域の方も十分理解されていて、利用できる駐車場に止めたりしています。例えば、550人規模の防災訓練でも分散してできていますので、大丈夫だと思います。

事務局 ウッデイタウンの私立の保育園では、定員120人で駐車場20台ほどです。通常の送迎には支障はないと思います。例えば、運動会等のイベント時は、周辺住民の方にご協力をいただきながら、駐車場を確保されているのが実情だと思います。今回のケースにつきましても同様に、小学校や保護者の方にご協力をいただき、対応していくことになると思います。

会長 臨機応変をお願いします。この件につきましては、事務局の提案で進めてい

ただければと思います。

それでは協議・報告事項3点目、認定こども園1日の過ごし方（イメージ）について、事務局より説明をお願いします。

（3）認定こども園1日の過ごし方（イメージ）について
事務局より6、7/11ページにて説明

会長 ただいま説明のありました内容につきまして、ご意見、ご質問がある方はお願いいたします。

委員 認定こども園になると、長時間保育が始まることでの配慮や、保護者との連携をどうするのかなど、園の職員でワーキングチームを作り、検討を進めています。

園児さんの生活の流れで一番配慮がいるのは、長時間、園で過ごすお子さんがいらっしやる点で、保護者がお迎えに来られるまで、安心して家庭的な雰囲気の中で過ごせるようにしないといけないと思っています。

生活の流れで、3歳児の2号認定のお子さんが給食後に午睡を設けるとありますが、4歳児においても、保護者の方が必要と思われるお子さんには午睡をしてもらおうといった対応も柔軟にしていけたらと思っています。

午睡の場所については、給食はみんなで一緒に食べた後、2号認定のお子さんは別室に移動し午睡をする等、私立の認定こども園などの話を伺いながらスムーズな生活の流れとなるよう考えています。一つ一つ配慮をすることが大事で、一人一人が安心して過ごせるようにこれからも考えていきたいと思っています。

会長 朝7時から夜7時までだと、子どもも大変だし、先生方もうまくローテーションしないと疲れますね。

その他に、ご意見ありませんか。

委員 今は午後2時に降園した後、園庭で遊ばせてもらっていますが、昼寝している子どもがいたらできないということですか。

委員 どの園でも、降園後にお子さんや保護者の方が園庭で遊んだり、話をされたり、その時間を楽しく過ごされています。それを全てなしにするのは、どうなのかと思っていますので、保護者の方のご意見をお伺いしたいと思っています。

今も月1回、園庭開放を行っています。回数など具体的には決めていませんが、形に残せたらと思っていますところですが。

委員 私は、行きは通園バスを利用させてもらって、お迎えは下の子どもを連れて行って園庭で遊ばせながら、「これからあなたが行く園だよ、楽しい場所だよ」と教えられたらと考えていました。子ども達や保護者との関わりができるいい時間だったので、園庭で遊べなくなるのは寂しく思います。毎日でないのでしたら、藍幼稚園でバスから降りて、藍幼稚園の遊具を利用させてもらえたらなと思います。家の近くに公園がないので、自由に遊べるようにしていただけたらうれしいです。

会長 藍幼稚園が閉園後の跡地の利用は考えていますか。どう利用するのかという

事を地域で話し合ったらどうですか。

委員 保護者の中では、今も芝刈りをやっていますし、そういう事をやるので使わせてほしいという話はしています。もったいないですね。藍地域は広くて、自転車で友達の家に行くのは遠いので、ここで集まればうれしいです。

事務局 今、お話しいただいた内容は、保護者の方が藍幼稚園まで迎えに行き、そこが空いていれば、使用したいというお話ですか。

委員 保護者の考えですが、認定こども園の園庭で遊べないようでしたら、通園バスの乗降場所になる藍幼稚園で降りて、幼稚園の遊具を借りて遊べたらなど思っています。跡地利用の話になるので、管轄は別かなと思いますが。

事務局 跡地利用の考え方としましては、9ページに書かせていただいています、1月ぐらいにはある程度の方向性を示して、ご説明させていただけると考えています。今、お話しいただいたのは、日によっては、バスに乗って藍幼稚園で降りる日もあれば、バスには乗らない日もあるという事でしょうか。

委員 アプリで管理ができるとおっしゃっていたように思います。今日は保護者によるお迎えとか、今日はバスとかを選ぶのですよね。

事務局 バスに乗る、乗らないについては、イレギュラーな対応をしますと、乗り残しなどの問題も考えられますので、基本的には同じような取り扱いでしていただきたいと思います。具体的な運用につきましては、今後検討させていただきます。

前回、東の検討委員会でも、同じようなご意見があり、園に残られるお子さんへの配慮と共に、園に迎えに来られる保護者の方が、園庭でお子さんと過ごす時間がすごく貴重だと言うご意見をいただいております。どちらの考え方も大切にしていきたいと思っております。これまでのように、毎日というのは難しい部分はあると思いますが、例えば、曜日を決めるなど工夫ができる余地があるかなと思います。小さなお子さんが、事前にこども園に行ける機会がほしいというご意見もありました。認定こども園となりますと子育て支援という重要な役割も担っていきますので、未就園のお子さんが集えるような場を設定していきたいと思っております。いろんな地域のお子さんに、ここにこんなこども園があることを知っていただける良い機会にもなると思っておりますので、そういった部分も充実させていきたいと考えております。

委員 広野幼稚園では、未就園児が集う「うさぎっこクラブ」を月に1回やっています。」私立の就学前施設では週1回とかやっていますので、そのくらいの頻度でやってもらえると子どもが園のことを覚えていて、スムーズに入園できると思います。

会長 こちらも、今の意見を十分考えてもらえればと思います。

他にございませんか。では、事務局の提案通り進めていっていただければと思います。

それでは協議・報告事項の4点目、通園バス運行の考え方について、事務局より説明をお願いします。

(4) 通園バス運行の考え方について

会長 ただいま説明のありました内容につきまして、何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。

委員 本日欠席の委員から聞かれていることがあります。2（3）の「具体的なルートや停車場所の設定に当たっても、通園バスを利用する保護者の皆さんのご協力をいただきながら」のところで、例えば藍本近辺にお住まいでも、藍幼稚園の駐車場に集まって、バスに乗車することを考えていても良いのかと伺っておられました。

事務局 以前に走行ルートのイメージで、藍幼稚園、藍本駅を示させていただいています。集約して、乗っていただくことで保護者同士の交流ができるとか、乗車時間の短縮になると思いますので、ご協力いただければと思います。

委員 ルートの決定は、最終的に地域にもう一度入って検討するのではなく、市の方でこの形でいきましょうという提案を出されて決めていくということですか。

事務局 事務局で基本ルートを設定しまして、秋に園児募集が始まりますので、そこで入園される方のお住まいの地域が分かりますので、その方々の状況を踏まえて、ご相談させていただき、最終的には市で決定させていただきたいと思いません。

委員 次に入園される方々の意見が反映される機会がありますか。

事務局 具体的に入園される方が決まれば、どういった所から乗られるかが分かりますので、ご相談やご意見を聞く機会を設けたいと思います。

委員 是非、利用される側の立場に立ってほしいです。行政の一方的な考え方で決めてしまうのは、利用者にとって負担が大きくなってしまう可能性がある。時間と利用者の考え方がマッチするように、できるだけ地域に行って利用者の声を聞いて作っていただきたい。そうしないと利用者がいなくなる可能性が出てくると思います。

広野幼稚園の園児で路線バスを利用している子どもたちがいますが、その子どもたちを園バスに乗せるとなると、ルートが変わってくるのでかなり時間がかかります。確かに子どもたちには安心安全で良いですが。

もう一つ心配するのは、神姫バスの便が少ない中、幼稚園、小・中学校の子どもたちの送迎でようやく人数をカバーして走っているのが実情で、送迎バスを運行することによって路線バスはいらないという反応が出なければ良いということです。

地域にどんな影響が出てくるのか、そのことの兼ね合いを十分考えて、そういうバランスが問題で今後、非常に大切な話ですので、よろしくをお願いします。

事務局 バスの運行時間等を配慮しながら、どういった形で運行できるかを考えていきたいです。また、路線バスの継続性についても、ご意見をいただきましたので、関係部署と話しながら、検討させていただきます。

委員 広野の園長先生、青野の方から何人の子がバスに乗って来ていますか。

委員 子どもたちの人数は今年は2人です。去年は4人でした。朝は2人の子どもたちで乗ってることが多いですが、1人が休むと神姫バスに1人になってしまい、心細くなることもあります。1人がお迎えに来られたり、預かり保育を利用されると、1人だけで帰らないといけない事が生じています。バス利用の保護者の方のご意見をお聞きしますと、通園バスに乗せていただければ安心かなと言われてしています。

委員 以前お伝えさせていただいたと思いますが、10月の園児募集より手前で、「バスに乗ることを考えていらっしゃるか、考えているとしたらどこから乗りますか」というような、市から手紙とか出せないのですか。通園バスについて、伝えたい方や聞きたい方はたくさんいると思います。

10月の園児募集状況を聞いて、1月に1回だけの意見交換会で、その次は園が始まってしまうので、入園を考えておられる方にアンケートを出したりできないですか。

事務局 今、在園されている園児の保護者の方には聞くことは可能ですが、新入園児の保護者の方については、なかなか事前に聞くことが難しいところがあります。できるだけ早くそういった方を把握して、ご意向等を確認して、検討していきたいと思っています。

委員 難しいというのはどういうことですか。市は、何歳児がどこの地域にいて、人数の把握をされていて、住所も知っていると思いますので出せないものですか。

事務局 名前を特定しない形では、人数を把握していますが、具体的にどなたというところまで、現実には把握できていないところがありますので、いただいたご意見は今後検討させていただきます。

委員 もし、市から手紙を出せないのであれば、3地区の方でつてを頼ったら、その年齢のお子さんにたどり着けるとおもいますのでやりますよ。バスのことは、皆さんすごく知りたいポイントだと思っているので。

会長 心強いですね、事務局、ここまで言っているのに。

事務局 園を通じて、把握できる場所もあると思いますので、何らかの形でご案内させていただければと思います。

委員 一度ルートを決めたら、市の条例で決まってしまうのですか。

事務局 条例でルートを決めるのではなく、運行の委託業者との契約の中で決めていきますので、一度決めたら、年度途中での変更には課題があると思いますが、年度単位での変更は可能と考えております。

委員 最初からしっかりと利用者の声を聞いて、それにふさわしい乗降場所を決めて、きっちりとしたルートを設定してほしいです。

会長 せっかくバスを走らせるのだったら、多くの人に乗ってほしいですね。やれることは、しっかりやった方が良くと思います。

委員 現状で上青野を周るルート、バス停を設定する予定はありますか。

事務局 広野の路線バス利用者ということでしょうか。

委員 そうです、1号認定の方が青野から乗るのでしたら、青野まで行きますか。それとも、手前のバス乗車ポイントまで出ていくのですか。

事務局 現時点では決定していません。現状は青野方面の路線バス利用者はおられません。

委員 青野にいたら行きますか。

事務局 保護者のご協力の中で、できるだけ近くまで来ていただきたいと考えています。

委員 ここに書いてある園区内のお子さんというのは、広野のこともですよね。そしたら、青野まで行くのではないですか。出ていかなければならないですか。

事務局 通園時間短縮のため、できるだけ近くまで来ていただきたいと考えています。

委員 青野の方を拾ってあげるなら、奥まで行ってくれるのか、少しでも出てきてくださいというスタンスなのかを聞きたい。藍本も、藍本まで周ってくれるのか、そこまでは考えていなくて、四ッ辻辺りまでなのか。

事務局 これまでの基本ルートを設定させていただいている中で、1つのポイントとしてJR藍本駅を設定していますので、それをベースに考えております。

会長 それでは、意見も出尽くしたようですので、いろいろな意見を取り入れて、次回また報告してください。
続きまして、協議・報告事項の5点目、検討委員会のスケジュール（予定）について（西）事務局より説明をお願いします。

（5）検討委員会のスケジュール（予定）について（西）
事務局より 9/11 ページにて報告

会長 これからのスケジュールについて、何かご意見ございますか。

委員 まもなく、改修工事が始まると思います。スケジュールは予定通りに進行していますか。

事務局 以前報告しましたとおり、工事予定は8月から開始して、10月末までは幼稚園の中を整備していただきまして、外回りは12月20日頃を目途として工事設計をしています。今は仮契約で、今後、議会の議決を経て本契約という予定で、予定通りどおりに進んでいます。

委員 入札は終了したと聞きましたが、どのくらいの費用がかかったのですか。

事務局 およそ2億円です。

会長 他にご意見ありませんか。
ないようですので、このスケジュールの予定でよろしくをお願いします。

(6) その他

会長 その他になりますが、ご意見ありませんか。

委員 警報が出たとき、保育所は閉まりませんが、幼稚園は休園になります。子どもを幼稚園に預けていると、仕事を休まないといけない。2号認定で預けられている方は、仕事をされていて、警報が出たからといって仕事が休みにはならないので、その辺が心配です。また、午睡のことですが、保育所では朝7時に来て、夜7時までおられるお子さんもいますので、子どもの年齢だけで判断しないで、その子に応じた対応をしていただけたらと思います。

事務局 警報が出た場合の対応につきましては、これまでの幼稚園とは対応が違ってくると考えています。まだ決定ではありませんが、幼稚園部は今まで通り休園となり、ご家庭で見ることができるお子さんについては、できるだけご協力をお願いすることになると思います。お仕事でどうしてもと言う方がいらっしゃる場合は、お迎えに来られるまで、認定こども園で安全にお預かりするように決めていかなければと考えています。午睡の件は、一人ひとりの生活パターンがありますので、年齢で決めるのではなく、それぞれの生活状況を保護者から聞き取りをしまして、必要なお子さんには、午睡をとってもらい、心と身体の健康を考えて対応していきたいと思います。

事務局 最後に参考として資料を付けています。就学前施設在籍状況を前回と対比してご覧いただけたらと思います。

会長 それでは、本日の議事は終了しました。ありがとうございました。

事務局 山田会長、ありがとうございました。
委員の皆さまも、円滑な会議運営にご協力いただきありがとうございました。

3 次回の日程等について

次回の委員会は、各委員の日程調整を行い、令和5年8月1日に広野市民センターで開催することを決定した。

本日の会議録については、速やかに作成し、各委員に内容確認のご依頼をさせていただきます。